

事業所名

GRIPキッズ 吉川校

## 支援プログラム

作成日

令和7年

3月

1日

法人(事業所)理念		個性を伸ばす育成により「学ぶ楽しさ」が身につく好奇心が向上し、自ら物事に取り組む姿勢を育みます。										
支援方針		Gripキッズは、小学生から高校生までの「小中高一貫療育」を目指している放課後等デイサービスです。療育から学習、進級や進学までサポートし、一人ひとりに合わせた学習療育+集団療育に取り組んでいます。子どもたちが小さな成功体験を積み重ね、自信を持ち、社会生活においての課題対処能力を身につけていくためのサポートをいたします。										
営業時間		平日	14時	00分	から	19時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	小学生:個別支援計画書の記載場所のみ有 中学生:自立通所
営業時間		土・祝 長期休業日	10時	00分	から	18時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	小学生:個別支援計画書の記載場所のみ有 中学生:自立通所
支援内容												
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活スキルの獲得(お菓子作り、調理、身辺整理等)</li> <li>・生活のリズムや生活習慣の形成(トイレトレーニング基礎的な学習、学校での学習課題等に対する支援、一日の流れを周知し、時間や活動の切り替えをわかりやすくする、起床、就寝時間、睡眠時間に関する本人や保護者への助言等)</li> <li>・健康状態の維持、改善(通所時の検温や体調に関する声掛け等)</li> <li>・障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化することにより生活環境を整える。</li> </ul>										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢と運動・動作の向上(体幹トレーニング、筋力トレーニング等)</li> <li>・姿勢と運動・動作の補助的手段の活用(着席時、足が地面に届かない児童に補助用の台や体格に適した机への誘導、正しい姿勢への声掛け等)</li> <li>・保有する感覚の総合的な活用(動物の動きを真似しながらのリレー、戸外遊び、工作等)</li> <li>・感覚や認知の特性(感覚の過敏や鈍麻)を踏まえ、タイムアウトルームやイヤーマフの活用により感覚過敏の傾向に配慮した環境調整</li> </ul>										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知の発達と行動の習得(ビジョントレーニング)</li> <li>・空間・時間・数等の概念形成の習得(ブロックなど立体の造形物を使った創作活動、数字リレー等)</li> <li>・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得(個々の障害の特性の説明等)</li> <li>・環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援</li> <li>・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援</li> </ul>										
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語の形成と活用(かるた、百人一首、しりとり)</li> <li>・言語の受容及び表出(自己・家族・友達紹介、休憩時間の他者との関わり)</li> <li>・コミュニケーションの基礎的能力の向上(生活の中で起こる事柄に対するロールプレイング)</li> <li>・コミュニケーション手段の選択と活用空間・時間、数等の概念形成の習得(伝言ゲームや早口言葉など言葉を用いたゲーム)</li> <li>・読み書き能力の向上のため特性に応じた読み書き能力の向上のための支援</li> <li>・自己の理解とコントロールのため大人を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるような支援</li> </ul>										
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者との関わり(人間関係)の形成(ごっこ遊び等)</li> <li>・自己の理解と行動の調整(自己を振り返り得意、不得意を把握する等)</li> <li>・仲間づくりと集団への参加(ペア、グループ活動等)</li> <li>・集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるような支援</li> <li>・アタッチメントの形成として人との距離感を意識し、信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援</li> <li>・自己の理解とコントロールのため、できること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるような支援</li> </ul>										
家族支援		生活・療育、学習について困った事や不安と感じる際は、都度連絡を取り合い相談及び面談の機会を設けます。 進学や就労などキャリアパスを見据えたサポートをご家族と共有しながら実施します。					移行支援			希望が出た際には、現状のライフステージの切り替えを見据えた将来の移行に向けた準備のサポートを致します。 学校への情報提供・共有事項 就労・自立支援における情報提供		
地域支援・地域連携		必要に応じて関係する放課後等デイサービスや学校、相談支援事業所などと連携し、利用児童の様子や関わり方、課題などを確認して支援します。 また支援内容を共有し日常生活の充実を図っていきます。					職員の質の向上			社内研修の実施(新任研修 法定研修) 外部研修の参加 毎日の朝礼(共通認識を持ち個々へ同様の支援が出来るようにします)		
主な行事等		理科実験や工作(現象や仕組みについての学習支援 季節の変化を取り入れる) 食育イベントや調理・デザートづくり(食べ物についての知識や大切さについて) 外出イベント(公園や防災施設など公共機関での見学や活動 地域の行事参加、お買い物学習として買い出し)										